

農業

さとうきびは島を守り、島は国土を守る。

本村は、無人島からさとうきび栽培によって拓かれた島で、植付から収穫まで一貫した機械作業体系は、さとうきび農業機械化の先進地であり、一戸当たりの経営耕地面積は8haと広く基幹産業であるさとうきび栽培の適地となっています。

しかし、近年自由貿易協定が各国で進んでおり、市場原理導入が懸念されるが、県、村経済を支える重要な作物として、国土防衛、保全の見地からも、高糖品種の導入、病害虫防除技術の確立、各種農業基盤の整備、輪作体系での土づくり等を積極的に推進して、未来永劫にさとうきびの島を目指しています。



品質の良いサトウキビ作りに取り組む若者



島の経済を支えるサトウキビ産業（製糖工場）



ピレットプランターによる植付作業



ローターベーターによる耕起作業



スパウダーによる防除作業



多機能機による堆肥散布



農業用溜め池



整備された防風林



収穫期にはさとうきびの
甘い香りが島を包む。



大型ハーベスターによる豪快な収穫風景



輪作作物として期待されるカボチャ畑

輪作農産物への取り組みも
積極的に行っています。



丁寧に育てる栽培農家



収穫された高品質のカボチャ

近年、さとうきびとの輪作作物としてカボチャが広く栽培されています。

JA南大東支店野菜部会が中心となって、品質や栽培技術、適期防除管理等の習得に取り組み、農家所得の向上、安定で一大産地としてのブランド化を目指しています。